



## 三浦半島の活性化について

### (質問要旨)

先日、第一回「三浦半島サミット」が開催され、4市1町の首長が手を組んで三浦半島の活性化の取り組みを議論していく事になり、三浦半島は、今年に入って加速的に魅力発信にむけて動きを始めている。

また、先日の「知事との対話の広場」で知事は「今後は『海の神奈川』を売りしていきたい」「『それを引き受けるのは三浦半島だ』という気持ちでやっていただきたい」とのメッセージを投げ掛けた。

地域活性化のキーワードは「選択と集中」である。例えば三浦半島の地域が一体となり集中的に取り組めば、三浦半島の活性化は勿論、他の地域にも波及し、県域全体を盛り上げられるのではないかと。

そこで、①神奈川の水、特に三浦半島の水に何を感じて、『海の神奈川』のメッセージを送られたのか。また、②三浦半島地域では、「一歩進んだ三浦半島の活性化」を図るための動きが活発化しているため、今こそ、知事に背中を押してもらいたいと考えるが、所見を伺いたい。

### (知事答弁)

最後に、三浦半島の活性化についてお尋ねがありました。

まず、「海の神奈川」のメッセージについてです。

私は、昨年の夏以降、「水のさと かながわ」をアピールするために、葉山、城ヶ島、逗子の海でダイビングを行いました。

潜ってみますと、海藻が生い茂って、まるで海の中に森があるような景観。そこには鯛の大群がいたり、熱帯魚までいる、360度、魚の大群に囲まれる、そんな体験もしました。神奈川の水はこんなにおもしろいのかと、新鮮な驚きがありまして、また、南の島とは違って、海の中に四季が感じられる、そんなことも発見した次第でありました。

この時、この神奈川の水ならではの魅力をアピールしていきたい、沖縄や海外に行くまでもなく、東京から電車や車ですぐに行けるこんな

場所にこんなにも魅力的な海があることを多くの人に知ってもらいたいと強く思った次第でありました。



折りしも、平成26年度中に、さがみ縦貫道路が全面開通し、海のない県が高速道路で神奈川の水につながります。さらに、2020年には、オリンピック・パラリンピック東京大会が開催されます。

今後は、この水を売りにして、多くの人を神奈川に呼び込もうという思いで発したのが、「海の神奈川」というメッセージです、三浦半島の活性化についてです。

三浦半島は、海そのものの魅力はもとより、歴史・文化、水の幸、地場野菜など、豊かな資源に恵まれた地域です。

次に、三浦半島の活性化には、こうした資源同士を結び付け、三浦半島全体の魅力を高めていくことが必要です。

先般、「三浦半島サミット」が発足し、5市町が一丸となって三浦半島を全国・全世界に売り込んでいくことを確認したということですが、こうした地域の意気込みが地域の活性化には何より大事であると思います。

こうした中で、県では、神奈川の水の魅力をアピールするため、仮称ですが、「**かながわシープロジェクト**」に取り組むこととし、準備を始めました。

このプロジェクトは、さまざまなマリンスポーツや釣り、美しい海岸の景色、新鮮な水の幸など、神奈川の水の魅力を掘り起こし、それをパッケージにして「海の神奈川」を効果的に売り出していこうというものです。

県では、このシープロジェクトと城ヶ島・三崎の観光の核づくりで三浦半島をPRしてまいります。是非5市町の「三浦半島サミット」とともに、三浦半島の活性化を図っていきたくと考えております。私からの答弁は以上です。

### (要望)

先程答弁で「**かながわシープロジェクト**」という新しい提案をして頂きました。ありがとうございます。4市1町の市長、町長は、さらにコミュニケーションを図ってやっていきたいとおっしゃっています。そして、魅力は本当たくさんありまして、先日、4日の日に木村議員（三浦市選出）がかなり熱く語られて、私も熱く



もっと語りたんですけど、時間の都合もありますので、4市1町の首長のみなさんがおっしゃっている言葉をご紹介して私の質問を終わりたいと思います。「**100の議論より10の決断を、10の決断より1の行動を。**」この精神で具体的な連携を図っていく、取り組んでいくと決意を述べられていますので、どうぞ県におかれましては応援をこれからもよろしくお願いいたします。

※その他の質問についての知事答弁及び私の要望はホームページのお知らせに掲載いたしますのでご覧ください。